

令和4年度 第3回 富塚小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月25日（金） 14時00分～15時00分
 - 2 開催場所 富塚小学校 会議室
 - 3 出席委員 吉原、鈴木、萩原、小宮山、疋田、石黒、片山、平出
 - 4 欠席委員 藤田、津根
 - 5 オブザーバー 小楠（地域代表）
 - 6 学校支援コーディネーター 水野
 - 7 学 校 村松（校長）、土屋（教頭）、江間（教務主任）、新田（CSディレクター）
 - 8 傍 聴 者 なし
 - 9 協議事項
- (1) 議長の選出について
 - (2) キャリア教育について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 新田
 - 11 会議記録

司会の石黒委員から、委員総数10名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について鈴木委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) キャリア教育について

○全国学力学習状況調査から

教務主任よりプレゼン資料に基づき、本校の全国学力・学習状況調査の結果について説明があった。

○キャリア教育についての説明

教頭よりプレゼン資料に基づき、本校におけるキャリア教育の取組状況について説明があった。

○グループワーク

A～Dの4つのグループに分かれて、キャリア教育について令和5年度に向けて「学校運営についての案」「願う子供の姿」「富塚地区のよさ」「地域人材」などの観点で意見交換を行った。委員からは以下の発言があった。

【Aグループ】（鈴木委員、疋田委員、校長、CSディレクター）

・地域の方々は小学校でやっているキャリア教育などについてほとんど知らないと思う。地域に知

らせていくためにはどうすればよいかを考える必要がある。学校がもっとやって欲しいことを言うといい。議論することも大切だが、まずやってみる、動いてみることも大切だと思う。

- ・子供たちに積極的に関わっていきたい気持ちはあるが、時代が変わって、子供たちに声掛けをすることも難しくなり躊躇してしまう。
- ・最近中学校の部活動を地域へという話があるが、このように、学校でなければできないことと学校でなくてもできることを分けて、学校の負担が大きくなりすぎないようにする必要がある。学校でなくてもできることに地域の力を活用できればよいと思う。
- ・文字、文章を書くことを学校でもっと教えて欲しいと思う。これからの時代は書くことよりも入力することが主になっていくが、その基本となる文章を書くということを大切にしたい。

【Bグループ】(吉原委員、萩原委員、オブザーバー、教務主任)

- ・子供は自分の課題を持った時に積極的に解決しようとしていく。これが本当の意味での課題となり、解決しようとする過程で、自分で考える力を養うことができる。その課題解決の過程を、地域人材やCSの力を借りて支援できるとよい。
- ・子供は一人一人が認められていると分かれば自分を出すことができる。自分の良さを見つけて自己肯定できる場面を作っていくことが大切である。
- ・地域人材を生かした学習は地域と学校を結んでいる。また、中学生になってもボランティア活動への参加などによって地域やCSとのつながりが続いていくことは、子供を地域で育てる土台となっている。

【Cグループ】(小宮山委員、石黒委員、教頭)

- ・人材を活用すると、いつも身近にあるもの(佐鳴湖など)を違う角度から見られて、より興味を持つことができる。
- ・富塚の良いところは環境が良いことである。自然もあり、医療も充実している。また街に近い。
- ・富塚は、地域の皆さんの人柄が良いと思う。のびのびとしている。新川などの自然もあり、その良さを生かしている。文化面も充実しており、日常的に音楽があふれている。
- ・スクールカウンセラーが常時いて、ちょっとした相談も気軽にできるようになるとよい。

【Dグループ】(片山委員、平出委員、学校支援コーディネーター)

- ・富塚の人材は豊富である。生まれた場所も富塚であったり、何世代も富塚に住み続ける人が多い→富塚は住みやすい町である。
世代を越えて人脈をつなげることで、子供にも大人や年配の方にもいい影響を与えるのではないか。
- ・ボランティアなどもいろんな世代に声を掛ける。意見や支えは何層もあったほうがよい。
- ・小学校にも、高校生ボランティアを入れてもよいのではないか。サポートをお願いすることで、お互いに地域とのつながりや社会性を身につけるきっかけができるのではないか。
- ・富塚は他の地域と比べてつながりができていると思う。ステップアップとして次は富塚と他地域

をつなげる試みにチャレンジしてみてもよいのではないか。

- ・ プラスワンの勉強は、児童一人だけでなく保護者と一緒に取り組んでいる児童も多い。保護者と児童と先生のつながりにも良い影響を与えると思うので、とても良いことだと思う。

○全体熟議

- ・ 各グループからキャリア教育について良い意見がたくさん出た。これを今後の教育活動に生かしてもらいたいと思う。(鈴木委員)

鈴木委員の問い掛けに全委員が同意した。

その他の報告事項等

- ・ 会長から、学校運営協議会自己評価の提出について説明があった。
- ・ 司会から、次回会議は、令和5年1月31日(火)14時00分から会議室で開催する旨の報告があった。